

下山で道に迷ったことに気づいたが、夕暮れが近づいていたため沢まで下りてしまい、戻る道が見つからず救助を求めた。



遭難地点

女性2人（61歳、57歳）は金時公園橋から不老山に登り、12時45分、番ヶ平方面へ向かった。16時、道に迷ったことに気づいたが、沢まで下りてしまい、戻る道を探したが見つからず110番通報した。警察署員が10時15分に入山。20時30分、燧沢源流部にいた女性らをロープで引き上げ救助した。（本文参照）

下りでは圧倒的に道に迷いやすい。特に里山では、落ち葉で道が見えないことも少なくない。また、登り道と下る道が違う場合では、道に迷う確率は高くなる。この事例では、里山で電波が通じ、警察に通報することができ事なきを得た。

電波が通じた場合は、動かないことも一つの助かる方法だが、電波が通じなかったとしたら……。12月という季節も考慮し、十分な装備を持って登山を楽しんでほしい。